
忍界の能力者は世界を越える

この世全ての悪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

忍界の能力者は世界を越える

【Nコード】

N9394X

【作者名】

この世全ての悪

【あらすじ】

不幸なまま人生を終えた少年。神より力を貰い世界を渡る。その力は忍ばない忍者。

転生

独りの少年がいた。運命から見放された少年がいた。その少年は、甲斐甲斐しくも人生を謳歌し、僅か十年余りで世界を去った。

そんな少年の不幸を憐れんだ神様がいた。

神様は死した少年の魂を自らの領域へ連れてきた。

その少年が此である。

「初めましてじゃ。少年」

僕の目の前に居たのは立派な白髭を伸ばす若かりし頃はイケメンだったであろう老人でした。

「あ。どうも、初めまして」

頭を下げた僕に気を善くした老人は頷く。僕がいる所は真っ白い空間。老人が言う神の間とゆう場所らしい。

「お主の人生を見て来て剰りにも哀れでな。儂の権限を持ってチート転生して貰おうかと思うての」

「……チート転生？」

「うむ。別の世界に最強能力を持って第二の人生を送って貰う」

「いきなり、そんなことを言われても……」

「安心せい。儂がピッタリなのを選んでやるからの」

そう言つて老人は僕の頭に手を置く。

「痛いかも知れんが我慢せい」

痛みが駆け抜けた。知らない知識が脳裏を駆け巡り、体内を底知れぬ力が溢れ出し、目が、喉が、手足が、軀が灼ける。

悲鳴すら出せない。精神が壊れるかと思う程の痛みが、熱が引いていく。と、同時に臍に違和感を感じた。

まるで……何らかの存在が入ったかのような。

荒々しく息を吐く僕。老人はその最強能力とやらを僕に写すのが完了したのか手を離す。

「お主に写したのは、良く見ていたNARUTOの忍ばない忍者の力。詳しく説明すれば、まず主人公でもあるナルトの阿呆みtainなチャクラ量と封印されていた九尾の善の魂。全忍術と全性質変化と全才能、首切り包丁と鮫肌と草薙剣。我愛羅の砂操作と傀儡操作に粘土爆弾操作。決継限界、白眼に写輪眼に輪廻眼。他に欲しい者は無いかの？」

「十分……えげつないですね。でしたら、忍具やその他の道具やら材料に口寄せの巻物くらいですね」

「うむ。そろそろ時間故に逝って貰うぞ」

「字が違つと思いますが解りました」

「今度こそは汝に幸あらんことを」

僕は“うちは蓮華”として生を受けた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9394x/>

忍界の能力者は世界を越える

2011年10月26日06時35分発行